



今日は1学期の終業式

明日(7月31日)から8月19日まで、ちょっと短い夏休みになります。その夏休み、今年はいつもとちょっと違うことがあります。

まずは、新型コロナウイルス感染防止のために、編集会議ができず、夏休みの課題の定番「夏休みの友」が発行できなくなりました。代わって、学年ごとに、教科の学習ができる教材を『課題(宿題)』として出します。(この教材は、甲斐市からの補助で購入します。)限られた教科だけですが、夏休みのうちに1学期の復習をして、2学期に向けての準備をしてもらうためのものです。

もうひとつ。夏休みのプールはありません。1学期の体育の授業もそうでしたが、眼科と耳鼻科の健康診断が実施できず、新型コロナウイルスだけでなく、眼科や耳鼻科に関する疾病や感染症への対応が十分できないために、水泳の授業ができませんでした。残念ながら夏休みも水泳は実施できません。健康な体を作る方法はほかにもあるので、工夫してできることを実践するという姿勢で、休み中の体力づくりにも取り組んでほしいと思っています。

* * * * *

今日の終業式、どんな話をしようかと考えましたが、次のことについて話することにしました。(学校だより作成中の29日現在の予定ですが…)

まずは、始業式で話した勉強の成果はどうかということです。

『かしこく』なるための勉強の成果はどうだっただろうか。正しいことの判断ができたか。その判断で正しい行動がとれたか。『やさしく』なるための勉強の成果はどうだっただろうか。人にやさしくするのはもちろん、物を大切にできただろうか。『げんき』になるための勉強の成果はどうだっただろうか。感染症が心配される今、その予防のための行動はとれているだろうか。

多くの場面で、『かしこさ』、『やさしさ』、『げんきさ』を感じることができました。例えば、元気なあいさつの声がひろがってきたのは、相手に対する「やさしさ」と声を出す「元気さ」の表れだったと思うからです。まだまだ成長途中だからこそ、これからもっと、かしこくて優しく元気な子になってほしいと願います。伸びしろは『十分あり』です。

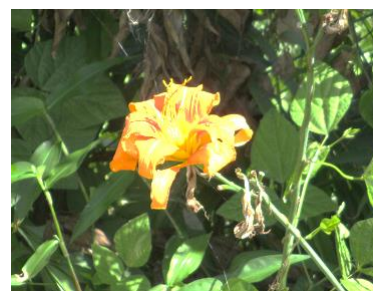
もう一つ、いつもよりはちょっと短いけれど、夏休みは普段できないことができるチャンスであるということです。かつて担任した子の中には、夏休み中に中央線博士になった子や、キャベツの干切りの達人になった子もいました。夏休みだから時間を使ってできる、そんなことに挑戦してほしいと思います。努力の成果がわかるようなことなら、そんなに難しいことでなくていいと思います。但し、達人になるといっても、コンピュータやスマホなどのゲームなどは除外します。『夏休みだから挑戦すること』については、もし挑戦するなら、家族で話し合ってお考えいただきたいところです。

* * * * *

新型コロナウイルスの感染は一向に収まる気配がありませんし、いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況になっています。そんな中で、1学期中、感染者が出なかったことについて安堵するとともに、健康カードの記入など、ご家庭の協力に対しまして感謝申し上げます。今後も、子どもたちが健康に過ごせるようご協力をお願いします。

北小花日記

7月11日に校地内の草刈りをしていただいたので、花はあまりないかと思いましたが、プールの近くに一株あったのが、橙色の「ヤブカンゾウ」です。見た通りのユリの仲間、八重咲ではない「ノカンゾウ」も、学区内の畑や田んぼの土手などにはあると思います。盛夏にみられる野草の一種です。梅雨明けは?と思われる毎日ですが、野の花々は、夏真っ盛りです。



通信表「あゆみ」についてのお知らせ

今年度より、「あゆみ」の学習の評価項目が変わります。その理由としては、出席の記録や成績などの個人情報等、学校内の情報管理のために全体的な情報管理システムが構築されたことによることと、もう一つは、学習指導要領の改訂に伴い、評価すべき項目が変わったことによるものです。後者については、別紙にて詳しくお知らせしますが、評価項目は、『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3つです。特に、『知識・技能』の項目につきましては、単元ごとに実施したテストの結果などを参考にしていただき、夏休みの学習計画に生かしてください。

もう1点。学校再開時に『新型コロナウイルス感染症に関する出席停止等の取扱いについて』によりお知らせしてありましたが、出席簿も情報管理の一環として情報管理システムに組み込まれました。そのため、発熱等で欠席した場合に、医師の診断が出るまでの間に関する出席停止については、システム上の既定の理由である「新型コロナウイルス感染症（疑い）」という記載となります。

1学期の学校生活について、今後の取り組みの資料としてお知らせする意味合いもありますので、◎や○、△の数だけでなく、どんなことができてどんなことが苦手かを把握していただき、お子さんの成長のための資料として活用してください。

◆数字で見る1学期のがんばり◆

①病気による欠席がなかった人 ⇒ 142人/196人中

新型コロナウイルス感染症を予防するために、手洗いなどの衛生管理をしっかりとしてきた成果なのでしょうか、病気による欠席「0」の人は、142人もいました。全校児童の72%です。2学期はもうちょっと長い学期になりますが、病気に負けない元気な「北っ子」であってほしいと思います。

②図書室で本をたくさん借りた人 ⇒ 50冊以上かりた人 7人 (もうひと息だったけど40冊以上かりた人 6人)

※夏休みの特別貸し出しの前までの数です。

図書室での『密』を避けるために、貸し出し日や時間を限定しましたが、それでもたくさん本を読んだ(借りた)人がいたのことは素晴らしいと思います。1年生は貸し出しの開始が遅かったので、残念ながらこの13名には含まれませんが、ひらがなの勉強も終わったので、2学期にはたくさん本を読んでください。『読書は心の栄養です』

誰があけた穴？

どんぐり園近くの桜の木の根元に、直径2cmくらいの穴がいくつもあいています。

誰があけたのか？

穴をあけた犯人(?)は、近くの木に証拠を残しています。

その証拠が下の写真です。そう、セミがあけた穴です。



セミの幼虫は、数年間、土の中で生活し、夏になると土の中から這い出てきて、脱皮して成虫になります。

夏、成虫となり、子孫を残すために産卵します。

セミのぬけがらを見つけたら、近くの地面を見てみてください。幼虫が出てきた穴があるかもしれません。※穴を見つけても、指などは入れないように！（違う穴だったらたいへん！）

